

# 天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 TEL223-1117 FAX223-3275

## 天明中学校 ボランティア活動

6月7日、天明中学校3年生の皆さんが総合学習の時間にボランティア活動をされました。天明まちづくりセンター周辺の草取りをしていただきました。ありがとうございました。



## 銭塘4町内 一斉清掃・ショウブ祭り

6月3日、銭塘4町内で町内一斉清掃とショウブ祭りがありました。朝9時から約130名の皆さんが公民館前に集まり、ラジオ体操で体をほぐした後、子ども会、婦人会、老人会、一般の方の順に町内のごみ拾いに出かけました。清掃後は用水路や道路わきの空き缶やチリが無くなり、きれいな下内田になりました。役員さんは、「ごみの量は毎年毎年減っている。地域をきれいにしようという意識が強くなっているのでは」と話していました。

下内田公園西側のショウブ園は造成されて4年目になるようで、今年も色々な種類のショウブが見事に咲きました。町内の皆さんは清掃後、ショウブ鑑賞と用意されたスイカやメロンを楽しまれました。



## 天明絆の会 ねんぶち魔法の杖配布・会員募集

天明絆の会は発足8年目を迎えました。現在20人の会員さんが慰問活動や交通安全活動に取り組んでいます。

### 1 「ねんぶち魔法の杖」無料配布

◆散歩時の転倒防止のお手伝い◆反射材を活用した夜間の交通事故防止◆護身用具としての活用

【配布先】天明まちづくりセンター まちづくり班窓口前  
※希望の方はご自由にお取りください。(無くなり次第終了)

### 2 会員募集について

- ①練習日 毎月第1・3火曜日 10:30より1時間
- ②練習場所 銭塘3町内公民館
- ③活動内容 老人ホーム慰問、お祭り参加、市マラソンなど
- ④問合せ 天明絆の会事務局馬場知子さん(223-2537)



## 天明の歴史シリーズ5 銭塘校区 寒巖義尹禅師と銭塘

第5弾銭塘校区寒巖義尹禅師と銭塘の紹介者は白河部健さんです。

肥後國誌に「河尻泰明太夕師ヲ崇敬シ法場ノ外護ト成リ 境内四町四方并海邊ノ牟田假令三十町寄進也 委クハ四至寄進状ニ有之」とある。

これが銭塘の原点で、「河尻泰明は寒巖禅師を大変崇敬し、海邊の牟田約三十町を寄進した。四至(東西南北の境)は寄進状にある」という。

寄進状(大慈寺文書)には、次のように記載されている。

- 目的 大慈寺の仏性燈油並びに修理のための牟田開発
- 期日 弘安7年10月13日-----1284年(鎌倉時代後半)
- 四至 肥後国飽田南郷河尻郷の内

・東限 西新開堅堤定 ※堅堤(じゅてい)-----たて塘

鎌倉時代、西新開は河尻の西に新しく開かれた新地であった。その西新開や河尻を守るための堅堤を、東の境と定めている。ちなみに、西新開堅堤は銭塘の東にあるので、後で東塘と呼ばれるようになった。

・南限 同横堤定 西新開の横堤を、南の境と定めている。

・北限 龍王木南際

龍王とは、飽田南小学校の北側に鎮座する浜の龍王社である。この龍王社の南際にある木(楠 銀杏)を北の境と定めている。

・西限 今堤定并可極海邊有開発之

鎌倉時代、西新開堅堤と海の中ほどに堤があった。その堤を西の境と定めている。併せて、海邊の極まで開発していいと。そして、堤は高く人の往来に使われ、後に「中道」と呼ばれるようになったと考えている。

以上が、大慈寺文書に記載されている泰明の寄進地である。寒巖禅師は、実際には牟田五十五町を開発し、「銭塘」と名づけられたという。その場所はいろいな説があり定かではないが、私はうら橋から五町の四つ角を経て、歳星宮あたりまでと考えている。

最後に、天明は中緑・銭塘をもととして、川口、奥古閑、内田、海路口へと開かれてきた。この天明の地から、おいしい米や野菜ができる。また素晴らしい人材が輩出された。我々は、牟田を切り開いてきた先人に感謝を忘れることなく、これから先もこの地でしっかり生きていかなければならないと思う。



## 中無田閘門プレイパークのお知らせ

- 日時: 8月16日(木) 10:00~15:00
  - 場所: 中無田閘門プレイパーク会場
  - 参加方法: 直接会場へ
  - 内容: カヌー、手こぎボート、釣り、弓、ペットボトルロケット、草スキー、魚や動物とのふれあい、投網体験 など
  - 問合せ: 080-1736-6488 (井村会長)
- ※万一の事故、けがは自己責任です。